

目次

[概要](#)

[どのようにアスタリスク レジストラと TelePresence 製品を使用しますか。](#)

[関連情報](#)

概要

この技術情報は Cisco TelePresence MCU 4203、Cisco TelePresence MCU MSE 8420、Cisco TelePresence IP VCR 2210、Cisco TelePresence VCR MSE 8220、Cisco TelePresence IP GW 3510、Cisco TelePresence MCU 4505 および Cisco TelePresence MCU MSE 8510 製品に関連しています。

Q. アスタリスク レジストラと TelePresence 製品を使用する方法

A. アスタリスクとの Codian MCU/IP VCR/IP GW を登録するために、MCU/IP VCR/IP GW はアスタリスク レジストラのエンドポイントで設定する必要があります。アスタリスク Reistrar は Linux で動作し、コマンド ライン インターフェースがあります; 従ってこの技術情報は Linux エディタについて詳しく知っていることと仮定します。

次の通り sip.conf ファイルを開き、それを編集して下さい:

1. MCU/IP VCR/IP GW のための新しいエンドポイントを作成して下さい:**設定の Username** フィールド > MCU/IP VCR/IP GW の **SIP** ページを一致するためにユーザ名を設定して下さい Password フィールドを一致するためにパスワードを設定して下さい
2. 会議記録登録が使用されるべきなら登録されているべき各会議記録のための新しいエンドポイントを作成して下さい。ステップ 1 で作成される MCU/IP VCR エントリがこれらのエントリの後にあるはずであることに注目して下さい (下記の関連 FAQ を参照して下さい) :設定しました ユーザ名 一致するため数字 ID の会議 (または MCU \ IP VCR の自動転送) \記録物**設定の Password** フィールドを一致するためにパスワードを > **Settings** ページ 設定して下さい
3. デフォルトで、アスタリスクはオーディオだけをサポートします。ビデオを有効にするために、sip.conf の本文へ行「videosupport=yes」を追加して下さい。
4. 本文へ行 'allow=h263 を、または、より大きい制御のために追加すること、個々のエンドポイント定義へそれを追加することによって H.263 ビデオコーデックを-有効にして下さい (ビデオを送信し、受け取れるほしい) それらのエンドポイントのために。
5. SIP エンドポイントはのためにナビゲートこと自動転送アスタリスク本文へ行「dtmfmode=inband」を、または、より大きい制御のために追加すること、個々のエンドポイント定義へそれを追加することによって- DTMF インバンド モードを使用するために設定されなければなりませんできましたら (DTMF を使用できてほしい) それらのエンドポイントのために。
6. 変更を保存し、ファイルを閉じて下さい。

MCU/IP VCR/IP GW:

1. **設定 > SIP** に行ってください。
2. オンライン ヘルプを使用してページを、必要であれば完了して下さい。

3. SIP レジストラ型に関しては、標準 SIP を選択して下さい。
4. 変更を『Apply』をクリックして下さい。

関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)